双の池（そうのいけ）

諸　元

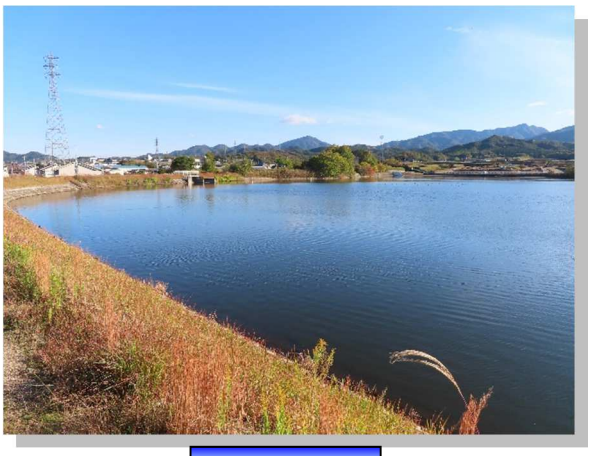
貯 水 量	144	千m3
満水面積	4.0	ha
受益面積	23.5	ha
堤　　高	3.8	m
堤　　長	362	m

双の池は、宝暦（ほうれき）年間(1751～1763 年)のことと伝えられている「池泉合符録」にも記載があり、永年この地のかんがいの便を図っていたことが偲ばれます。なお、この池の所在は寒川町内ですが、かんがい区域及び受益者はほとんど隣の大川町になっています。

双の池は元来、地勢の関係からかんがい区域が東西に二分されており、総面積は 32ha 程度でその耕作者も 45 名程度でしたが、近年しだいに宅地化されています。香川用水の流入は、双の池の東方にある田辺池（たなべいけ）に一度貯留し、ポンプアップして以東に送水することになっていますが、田辺池が狭小なため、双の池がその補助池として指定されました。そのため、双の池の水量については香川用水土地改良区が直接管理することになり、貯水の苦労はなくなりました。

双の池のゆる抜きは、例年 4 月 29 日頃に行われていましたが、昨今、転作田の野菜栽培等の関係もあり、各自、自由に通水することを認めるようになりました。

平成 18 年度（2006 年度）から 20 年度（2008 年度）までの 3 年間で、県営ため池整備事業により、堤体、取水施設 1 箇所、洪水吐 1 箇所を改修しました。



双の池

改修記念碑